



四中学校だより

令和8年10月16日

文化祭
合唱講評

二年生の歌う表情から感じたこと

昨年度の文化祭では、学年合唱を通して学年が一つになる姿を見せてくれた二年生。今年度はクラス合唱に挑戦し、少ない人数での練習は決して簡単ではなかったと思います。紹介文にもあったように、クラス全員でさまざまな課題を乗り越えてきたことが伝わってきました。歌っている表情からは、真剣さ、一生懸命さなど、それぞれの思いが感じられました。誰一人下を向くことなく、まっすぐ指揮者を見つめながら歌う姿がとても印象的で、素敵でした。

来年度は、学年合唱とクラス合唱の二曲。今から楽しみです。

三年生の合唱は、美しい歌声だけでなく、一人ひとりが楽しそうに体を揺らし、大きく口を開けて歌う姿からは、合唱への思いが伝わってきました。その堂々とした歌唱と表現力豊かな姿は、多くの観客に感動を与えました。最高学年としての貴様を感じさせる、見事なステージでした。

ざわついた！

予想をはるかに・・・

3年生のそれぞれの「空」 見せてくれました



一年生の合唱といえば、これまでは「元気のよさ」が大きな魅力でした。しかし、今年度の一年生は、その予想をよい意味で裏切ってくれました。

練習の段階から、入退場の姿や舞台上での待つ姿勢など、どれをとっても一年生とは思えないほどの高い完成度を見せていました。

本番では、指揮者が手を上げた瞬間に全員が一斉に視線を向け、その動きのそろう方と美しさに、会場からは驚きの声が上がりました。

そして迎えた合唱。豊かな音量に加え、強弱の表現や語尾まで丁寧に響かせる歌声は、聴く人の心を動かししました。

その歌声は今でも耳に残り、思わず「大切なもの」を口ずさんでしまうほどです。来年度のクラス合唱への期待が、ますます高まる発表となりました。

